

## はんなんプラスチックごみゼロ宣言

プラスチックは、安価で使いやすいことから、現在、私たちの生活は大きく依存し必要不可欠なものとなっています。その一方、不用意に捨てられたプラスチックの一部が、河川などを通じて海へ流れ込み、海岸の景観を損なうだけでなく、海の生き物が間違えて食べてしまうなど、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、近年、地球規模で問題となっており、細分化されたマイクロプラスチックによる生態系への影響も懸念されています。

阪南市には、尾崎・西鳥取・下荘の3港、ぴちぴちビーチ（箱作海水浴場）があり、大阪湾の自然豊かな恵みを享受してきたことから、これまで市民、事業者、行政が協働して海岸・河川清掃等を積極的に取り組み、良好な生活環境を保持してきましたが、次世代のこども達に、阪南市の自然溢れる海・河川の環境を継承するためには、より一層のプラスチックごみの削減に取り組む必要があります。

阪南市は、SDGs（持続可能な開発目標）先進都市を目指す大阪の一員として、大阪府及び大阪市が宣言した「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に賛同し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のさらなる推進、使い捨てプラスチックの削減やポイ捨ての防止に向け自ら率先して取り組むことをここに宣言します。

令和元年 5月30日  
阪南市長 水野 謙二

